

「じんけん しゅうかん」(6月21日~25日)

「ひとを大切に」「こころを大切に」。性別や立場の違いなどによる誹謗・中傷等の差別問題が後を絶たない中、社会の縮図でもある学校においても「人権について考え、実践する」という趣旨で、年2回、「人権週間」を定めています。第1回は、今週からの週で、月曜日の放送朝礼では、校長が、「にこにこ あいさつ」にまつわる講話を行い、人権教育担当の教員が、「三つの取組」について、全校で取り組んでいく旨を説明しました。



① グッド・ビヘイビア カード



② 友達を「さん」づけで呼ぶこと

③ 人権に関する図書の紹介

「① グッド・ビヘイビア カード」は、昨年度までは「教職員から児童に」渡す「ほめほめカード」でしたが、本年度は児童相互でも渡し合うことにしています。「ビヘイビア=行動、行為」ですから、友達と善い行いについて認め合い讃え合うようにします。「② 友達を『さん』づけで呼ぶこと」については、現時点においては「高いハードル」であることを認めざるを得ません。しかし、「ひとを大切に」という理念から、地道に、根気強く取り組んでいきたいと思えます。「③ 人権に関する図書の紹介」についても、司書の先生が早速用意してくれました。

4年生 総合的な学習 「レッツ・リサイクル」

6月21日(月)5校時、かねてから計画していた4年生の総合的な学習に係る「出前授業」が実現しました。水島工業高校 工業化学科の3年生38名の生徒さんが来られ、「廃油石鹸づくり」について、児童への解説、石鹸づくりにおける指導・支援を行っていただきました。環境問題を考えるきっかけの一つとなればと思います。

